BELLOF®

MULTI WARNING CANCELER α

マルチワーニングキャンセラーアルファ

取付・取扱要領書

○この度は、ワーニングキャンセラーをお買い上げいただきましてありがとうございます。この製品は、ＨＩＤを取り付ける事によりメーター内に表示される球切れ警告灯を回避させる為の製品です。
正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上でご使用ください。なお、本製品をご使用いただく間、必ずお手元においてご活用ください。
○本製品の取り付けにあたり、丸オスギボシを別途ご用意ください。

お客様へ

○本製品は、ベロフＨＩＤシステム専用品です。該当製品以外での使用では製品故障の原因となりますので、ご使用しないでください。
○取付けの際には、必ず取扱店様にて確認の上取付けを行ってください。車両の個体差によりまれに、同じ車両でも正常に動作しない車両もあります。製品不具合ではない場合がございます。
○本製品は、ハロゲンバルブ形状がＨ４･ＨＢ１･ＨＢ５タイプには使用できません。
○本製品の取付け、交換は専門の技術と経験が必要です。安全のため必ず整備工場や自動車電装品取扱いの専門店にて行ってください。

⚠危険

●本製品は高電圧を発生しますのでH.I.D点灯時及び点灯直後、インバータ・イグナイタ・バルブ・コード類には、絶対に触らないでください。感電の危険性があります。
●取付け作業を行う前に、商品(インバータ・イグナイタ・H.I.Dバルブ)の状態を点検または点灯確認してください。商品に損傷がある場合や、商品を落下させた場合は直ちに作業を中止してください。
●紙や布でおおったり、燃えやすい物には近づけないでください。火災や灯具過熱の原因となります。
●引火する危険性がある雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵等)で点灯しないでください。爆発や火災の原因となります。
●取付の際は、ヘッドライトスイッチをＯＦＦにしてください。また、バッテリーへの接続は、すべてのコネクターを接続してから行ってください。

⚠警告

●点灯中や消灯直後は点灯装置(インバータ・イグナイタ)が大変高温となりますので絶対に手や肌を触れないでください。
●点灯中の光を間近で見つめないでください。視力障害の原因となります。

⚠注意

●ヘッドライト点灯中や消灯直後に、洗車などでレンズに直接水をかけないでください。温度差によりレンズにヒビが入るなど破損の原因となります。
●ワーニングキャンセラーは精密な電子回路の集合体です。落としたり、配線を引っ張ったりしないでください。システムが作動していると高電圧が発生しておりますので装着・点検作業を行う際は必ずバッテリー端子を取外した状態で行ってください。
●ワーニングキャンセラーは、水の直接かかる場所や高温になる場所へは取付けしないでください。故障の原因となります。

ベロフジャパン株式会社
〒157-0071 東京都世田谷区千歳台4-30-11
TEL:03-3482-5461 FAX:03-3482-5462

ベロフアフターサービスセンター
〒379-2131 群馬県前橋市西善町2004
TEL 027-267-1556 FAX027-267-0984

取付要領

①下記の取付概要図を参考に付属のハーネスを左右それぞれに仮結線してください。

Ⓐ 赤色線:バッテリープラス端子に取付。
Ⓑ 黒色線:バッテリーマイナス端子に取付。
Ⓒ 赤/白色線:インバータ電源線(赤線)に取付。
Ⓓ 黒色線:インバータアース線(黒線)に取付。[※詳細図１参照]
Ⓔ 赤色線:純正ロービーム電源線(プラス電位)に取付。
Ⓕ 黒色線:純正ロービームアース線(マイナス電位)に取付。

②キャンセラーより出ているハーネスカプラーと付属ハーネスのカプラーを接続してください。

③キャンセラー本体の表面にパターンスイッチがありますので、付属のドライバーを使用し車両に合った番号をＯＮに設定してください。[※詳細図３参照]
その時にライトスイッチをＯＦＦである事を確認の上、作業を行ってください。
また、他の部品に触れないようご注意ください。
車両に合った番号をＯＮにしていない場合、警告灯点灯やH.I.Dの不点灯が発生する場合があります。

⚠ ご注意

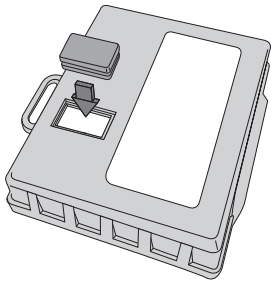
※購入時の設定は、パターンスイッチの２番がＯＮに設定されております。
※パターンスイッチを変更する際は、ライトスイッチがＯＦＦ(オフ)になっている事を必ず確認の上、スイッチ変更を行ってください。
※パターンスイッチが不完全な状態になっていますと正常な動作をしませんのでご注意ください。

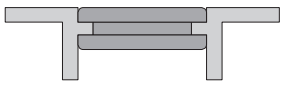
④エンジンを始動させてからライトを点灯してください。
※必ずライト点灯前に車両の各カプラーを戻した状態にしてから点灯確認を行ってください。
ライト点灯時にメーター内に警告表示が出ない事を確認し、キャンセラー本体の表面窓(詳細図２参照)に緑色のＬＥＤが点灯しているか確認してください。
赤色のＬＥＤが点灯した場合は、逆接続の可能性がありますので再度配線を見直してください。

⚠ 警 告

※取付概要の配線ⒺとⒻのプラスマイナス極性を間違えて使用し続けるとキャンセラー内部が発熱しケースが変形や溶けてしまいますので必ず極性を確認してください。

⑤車両とのマッチング確認後、付属のグロメットを確実に取り付けしてください。





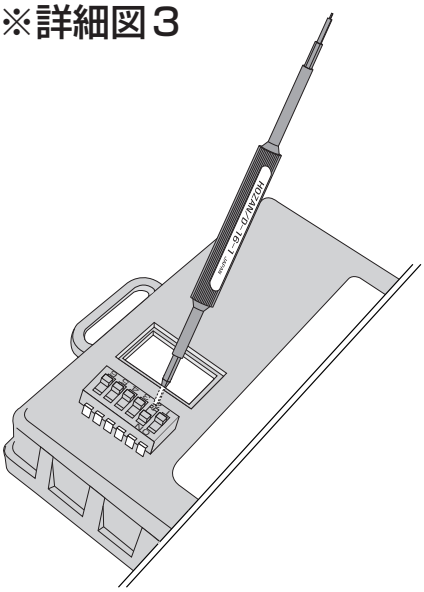
⑥キャンセラー本体のシール面を上にし、水が直接掛からない所や熱が掛からない所(エアーが入り易い場所)に取り付けしてください。

⑦仮接続していた配線等を熱の掛かる場所を避け取り回し、最終動作確認して正常点灯すれば作業終了です。

ご注意

※ヘッドライトの点灯、消灯を短い時間内に多く繰り返すとシステムの安全機能が働き、球切れ警告灯が点灯したり、H.I.Dが点灯しない可能性がありますのでお控えください。
※当製品はベロフH.I.Dシステム専用商品です。弊社製品以外とのご使用はお避けください。
※配線の接続またプラスマイナスを間違えますと故障の原因となりますので絶対に間違えないでください。

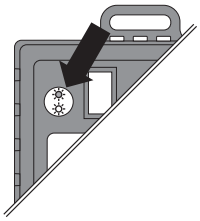
※詳細図３



パターンスイッチを設定する時はライトスイッチがＯＦＦである事を確認の上、他の部品に触れないよう注意し作業を行ってください。

※詳細図２

正常作動点灯確認窓

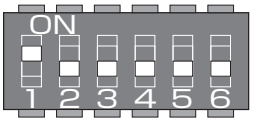
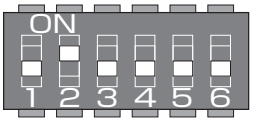
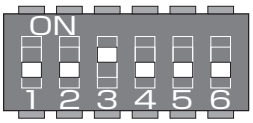
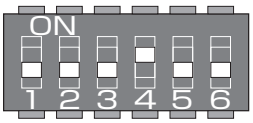
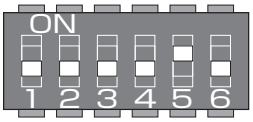
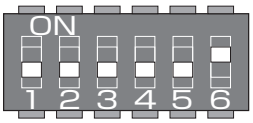


正常接続をした場合にキャンセラー本体表面の緑色ＬＥＤが点灯します。
赤色ＬＥＤが点灯した場合は、再度接続を確認してください。

パターンスイッチ切り替え要領［※詳細図３参照］

キャンセラー本体の表面にパターンスイッチがありますので、付属のドライバーを使用し車両に合った番号をＯＮに設定してください。

【各メーカー別パターンスイッチ設定】

パターン１		ＯＮ側 ＯＦＦ側	メルセデス･ベンツ系、その他メーカー
パターン２ 出荷時		ＯＮ側 ＯＦＦ側	ボルボ、アウディ系、フォルクスワーゲン（一部車両は除く）、その他メーカー
パターン３		ＯＮ側 ＯＦＦ側	VW　ブルーモーション系 ＢＭＷ　１シリーズ用
パターン４		ＯＮ側 ＯＦＦ側	ＢＭＷ　ＭＩＮＩ用
パターン５		ＯＮ側 ＯＦＦ側	アメリカ車系
パターン６		ＯＮ側 ＯＦＦ側	ＢＭＷ系

ご注意

フォグ（コーナリングライト装着車）でコーナーリングライト使用時に、一部の車両で車両に合った番号にしても球切れ警告灯が点灯したり、H.I.Dが点滅など正常に動作しない場合があります。

⚠ 警 告

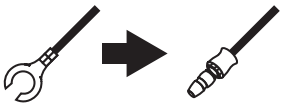
※上記記載以外のパターンをＯＮにしないでください。
※上記記載以外のパターンでご使用になれません。

⚠ ご注意

※購入時の設定は、パターンスイッチの２番がＯＮに設定されております。
※パターンスイッチが不完全な状態になっていますと正常な動作をしませんのでご注意ください。
※必ずライトやエンジンがＯＦＦの状態でスイッチを設定してください。
※一部車両は、どのパターンにしても不点灯や警告灯点灯する場合があります。
※車両の個体差によりまれに、同じ車両でも正常に動作しない車両もあります。

取付概要

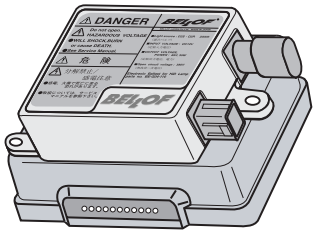
※詳細図1



オスギボシをご用意いただき、インバータ電源線のアース線に付いているクワ型端子を外し、ターミナルペンチ等を使いご用意いただいたオスギボシに付け替えてください。

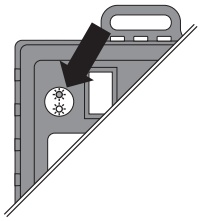
《 ご注意 》

ワーニングキャンセラーとインバータを組み合わせて取り付けを絶対に行わないでください。誤動作の原因となります。



※詳細図2

正常作動点灯確認窓

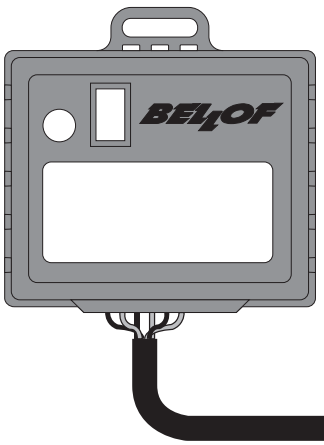


正常接続をした場合にキャンセラー本体表面の緑色ＬＥＤが点灯します。赤色ＬＥＤが点灯した場合は、再度接続を確認してください。

《 ご注意 》

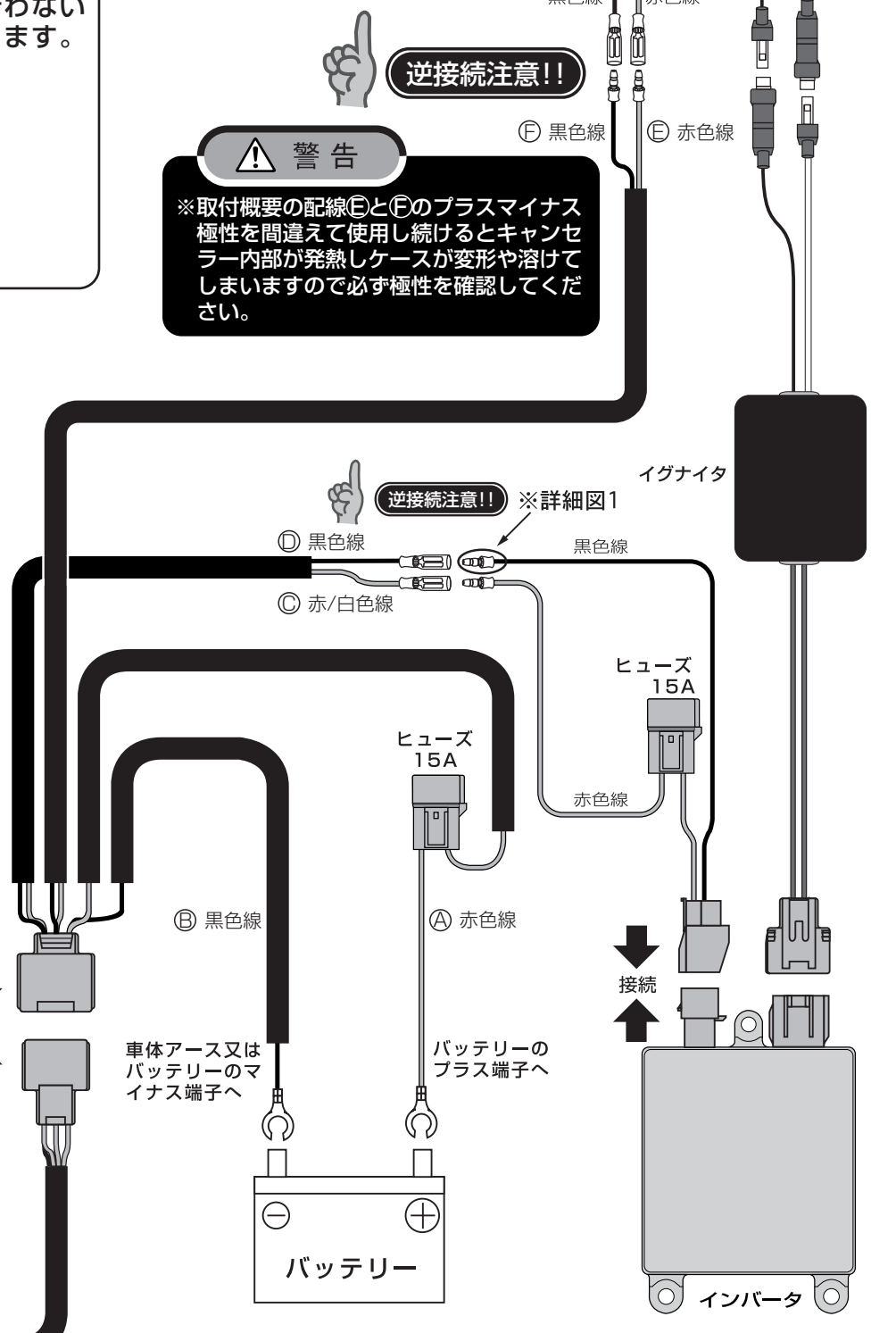
ワーニングキャンセラーは、精密な電子回路の集合体ですので熱が８０℃以上になるような所を避け、なるべく風が入るような場所か直接熱が掛かり難い場所に取付けしてください。
不点灯になる場合があります。

ワーニングキャンセラー



接続

接続

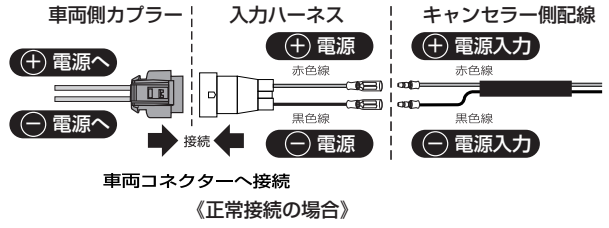


取り付け時のご注意

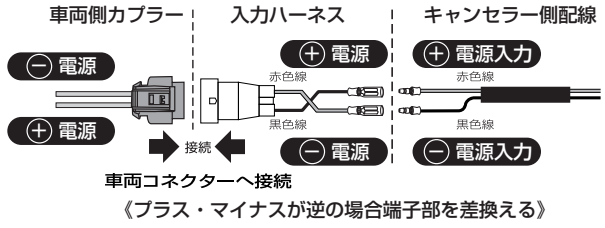
作業前に必ず下記の内容に注意して取付け作業を行ってください。

《 コントロール線接続の注意点 》HBバルブもしくは、HBタイプのカプラーにて電源を取る場合。

良い例

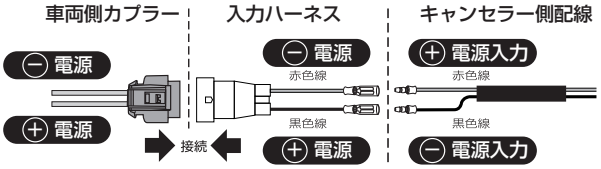


《正常接続の場合》



《プラス・マイナスが逆の場合端子部を差換える》

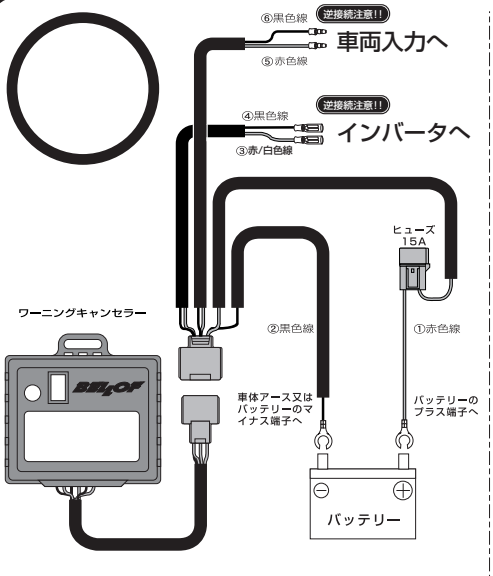
悪い例

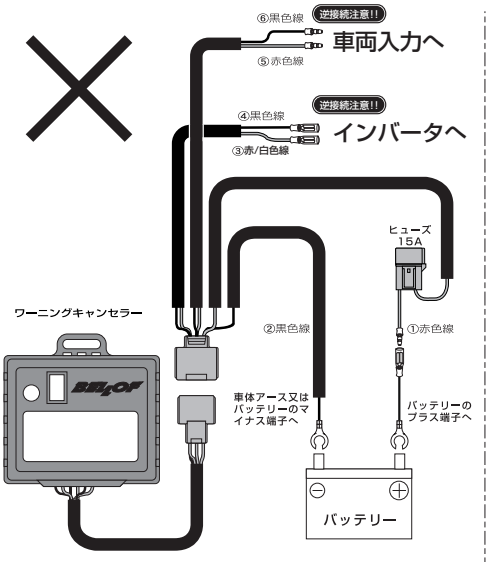


《キャンセラー入力がプラス・マイナス逆の場合誤接続》

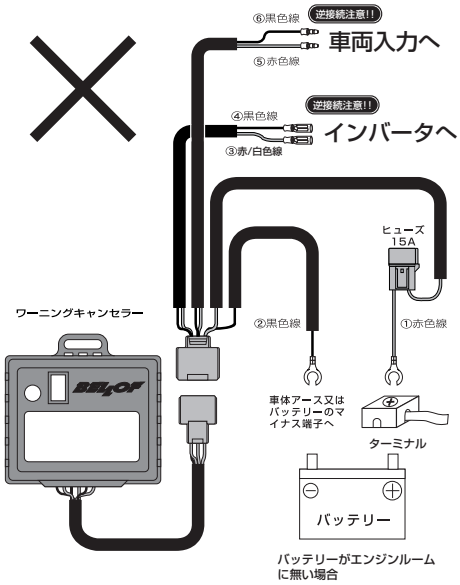
※必ず電気テスターにて検電して接続をしてください。

《 バッテリー接続時の注意点 》ＨＩＤが点滅や警告灯表示してしまう場合。



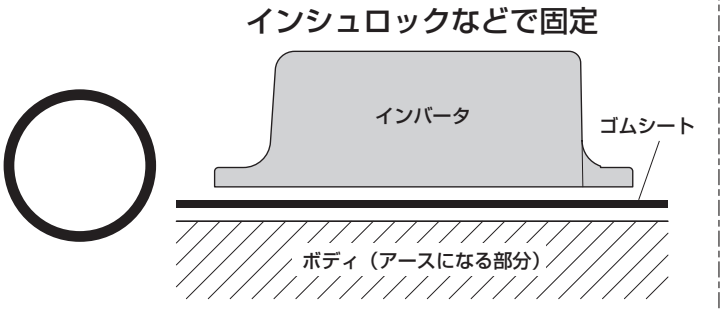


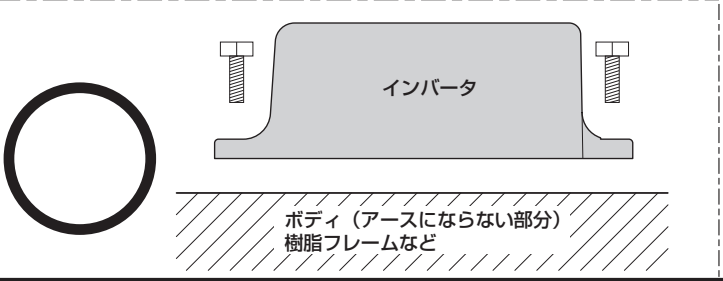
推奨ハーネス(2.0sq)以下の
ハーネスで延長した場合。
不完全な接続をした場合。

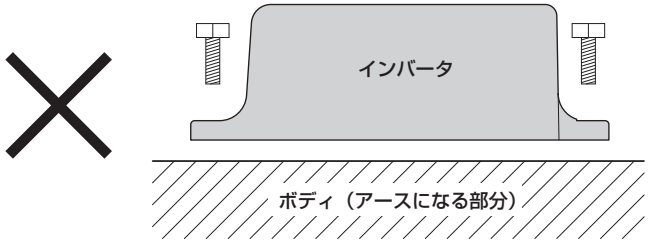


電気的容量不足になり易い
ターミナルに取付した場合。

《 インバータ取付時の注意点 》インバータ本体が車体に触れアースが取れてしまい球切れ警告灯が出てしまう場合。







ボディアースが取れてしまう場所へ
ボルトやタイラップなどで取り付け
した場合